

ご自由にお持ち帰りください



公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院

NEWSaka

2016.11
No.13

発行責任者：坂総合病院院長 内藤 孝

第38回 みやぎ東部 健康福祉友の会 健康まつり



みやぎ東部福祉友の会健康まつり
勇壮な「七ヶ浜汐見太鼓」

- 1 健康まつり
- 2-3 健康まつり (10/16)
- 4 職場紹介(臨床工学室)、食養室管理栄養士から(6回目)
- 5 認定看護師紹介その4 (工藤有希子糖尿病看護認定看護師)リハビリ室のお仕事紹介5回目
- 6 医師紹介(下) 伊在井淳子医師(外科科長)
- 7 外来診療案内
- 8 インフォメーションほか

病院理念

わたしたちは、患者さまの権利を尊重し、
共感・協同・平等・安全の
医療をめざします。



オープニングは躍動感あふれる「月詠(つきよみ)」の踊り

テーマ

ひろがれ あつまれ 健康づくり!

組織課 畑山 量子



10月16日(日)、晴天の下、塩釜ガス体育館を会場に約1900名が参加し「第38回みやぎ東部健康福祉友の会健康まつり」が開催されました。

7時50分に要員全員が集合し、実行委員長の挨拶のあと、各部署それぞれで準備が進められました。9時受付開始。各地域から送迎車等での来場者を受けや案内係が笑顔で迎えました。

催しは4会場(第1競技場、第2競技場、2階踊り場、外の模擬店)に分かれて行なわれました。

第1競技場では

○中央ステージ～9時50分、オープニングは、よさこい団体「月詠(つきよみ)」による躍動感あふれる踊りが披露され、参加者から大きな拍手が起こりました。

佐藤司まつり実行委員長の開会宣言に始まり、斉藤規夫友の会会長が挨拶し『高齢者医療、年金、介護保険など社会保障が次々改悪されようとしています、健康と福祉を守り改善・充実をめざし多くの人たちと手を携えて進めていきましょう。』と述べ

ました。

来賓の方々の紹介やあいさつ後、多彩なステージ開始。弦楽合奏(ゲッケロ・ゾリステン)は映画サウンドオブミュージックから、民謡(友の会民謡サークル)、力強いダンス(塩釜高校ダンス部)、日本舞踊(三喜流由梨香会)、コーラス(ひまわりの会)では季節のうたを参加者も一緒に歌うなど舞台は続きました。

12時から40分の休憩後、友の会踊りサークルを中心に来場者も加わり「よしこの塩竈」や「友の会音頭」など元気よく踊りました。締めは「七ヶ浜汐見太鼓」の勇壮な太鼓(表紙写真)で大いに盛り上がりました。

内藤院長あいさつ

内藤孝院長があいさつし、きびしい医療情勢やそれに伴うこの間の病院の取り組みなどを中心に紹介し、『安心して住み続けられる街づくりを共に進めて参りましょう。』と述べました。

そして最後は、お楽しみ大抽選会で終了しました。



弦楽合奏「ゲッケロゾリステン」の演奏



サークル展示コーナー



会場と一体になり踊りました



絵手紙体験コーナー



フリーマーケット



子ども薬剤師体験



癒しのハンドマッサージ



ちびっこ広場



のびのびストレッチ体操



休憩コーナーでおいしい物を食べながら交流



大盛況の健康コーナー

○サークル展示・体験会、フリマ、原爆展・署名など～展示コーナーではすばらしい作品に見入り体験コーナーにも多くの方が参集しました。フリーマーケットも売れゆき好調で大盛況。署名コーナーでも会話が弾んでいました。

第2競技場では

- 健康コーナー～血圧・体脂肪測定、骨密度測定、簡易血糖、肺活量測定、吐物処理コーナー、認知症相談コーナーを設置。特に、骨密度測定や肺活量測定などを中心に行列ができイスが足りなくなるくらいの大盛況でした。
- のびのび運動～「のびのび」の健康運動指導士の指導で、自宅でもできる無理のないストレッチ体操が紹介され気持ちよさそうに体を動かしました。
- つばさ薬局の子ども薬剤師体験～子ども用の白衣を着て、お菓子を薬に見立てて処方したり、いくつかの課程を修了した修了証書をもらい、将来への職業体験になったようです。
- ちびっこ広場～風船アート、つくって遊ぼう・読み聞かせコーナーに多くの親子連れが参加し楽しんでいました。

2階踊り場では

癒しのコーナーとして、ハンドマッサージや子育て相談が行なわれ、マッサージを受けた方は『人肌の温もりと会話でリラックスでき最高でした。』との感想も。

外の模擬店では

14店舗が出店しほぼ完売。あちこちからいい匂いがして、こちらも人人人。

暑いくらいの陽射しの中、おいしい物を食べながら休憩コーナーでゆったり交流している人も多かったようです。

久しぶりに顔を合わせた人たちの話し込む姿が印象的でした。

いろんな方に支えられて、今年の「健康まつり」も無事終了しました。



臨床工学室スタッフのみなさん

「臨床工学室」って…病院2階、ICUのとなりにあります。

部屋の中は人工呼吸器や輸液ポンプ・シリンジポンプなど医療機器がたくさんあり、いろいろな機械に囲まれて日々過ごしています。

臨床工学技師の仕事

私たち臨床工学技師の仕事は、そういった医療機器のメンテナンスだけでなく、透析回路の準備から、穿刺、外来でのペースメーカーの定期点検など、患

者様に直接関わる事ももちろんあります。

カテーテル室では、心臓・手足・お腹など、血管の血液の流れを良くする治療や、徐脈の患者様に対しては、ペースメーカーの植え込み術を行ったり、最近では発作性心房細動にアブレーション（植込み型除細動器）という治療も始めました。

少しでも地域医療に貢献できるよう

その中で、必要な機器の操作や、道具の準備をすることしかできない我々ですが、患者様の治療に対し、少しは貢献できているのではないかと思います。

現在4名の少数部署ですが、夜間・休日の昼夜を問わず、必要であれば声がかかりますし、長時間に及ぶことも多々あります。

近年、医学の進歩に伴い医療機器もどんどん進化し、新しいものが作られ、時代の流れについていくのもなかなか大変ですが、少しでも地域医療に貢献できたらと思います日々過ごしております。

坂総合病院食養室 管理栄養士から

管理栄養士 鈴木 亜紀



第六回

脂質の役割を知ろう！

脂質の主な働き

- エネルギー源になる、体温を維持する、脳の働きをよくする
- ビタミンの吸収を高める、細胞膜やホルモンをつくる
- 血液の流れをよくする（過剰摂取は悪くなる）など

脂質は私たちにとって大切な働きをしています！

3種類の油をよくとろう！

植物性

大豆やなたねなどからとる植物油。ドレッシングなどからのとりすぎに気をつけたい油です。



動物性

豚からとるラードや牛の乳からつくるバター。とりすぎに気をつけたい油です。



魚

魚介に含まれている油です。DHAやEPAなど体によい油を多く含むため、積極的にとりたい油です。



こんな食生活は危険！！

- 間食や夜食でスナック菓子やカップ麺をよく食べる。
- どんな料理にもマヨネーズやドレッシングをかける。
- ファーストフードが大好きでよく食べる。



摂りすぎには注意しよう

油は少量でも高カロリー！ 摂りすぎは肥満や動脈硬化の原因にもなります。



患者さん自身も セルフケアできるよう援助

糖尿病看護認定看護師
工藤 有希子

糖尿病および治療・看護のこと

糖尿病は、血糖値が高い状態が長く続く病気で、初期の段階では自覚症状はほとんどありません。高血糖の状態を放置すると、失明・透析・下肢切断の原因となる網膜症・腎症・神経障害など合併症を引き起こします。糖尿病治療は、食事や運動が中心となり、患者さんの状態によって内服やインスリン自己注射も必要になります。

糖尿病は、今のところ残念ながら治癒まではいかず、生涯にわたる治療や患者さん自身によるセルフケアが必要な疾患です。

患者さんは食事や運動療法がうまく取り入れられない時や、中断してしまう時もあります。しかし、どんな患者さんでもセルフケアを行なう力を持っています。

糖尿病看護は、患者さんの持つ力を療養生活の中

で活かし、その人らしく生きていけるよう、一人ひとりの生活に合わせた方法を患者さんやご家族と一緒に考えていきます。そして、合併症の発症や進展予防に努めます。

他職種が連携し対応

当院では、患者さんの療養生活を支えるために、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・リハビリスタッフ・MSWなど他職種が連携し、定期的にカンファレンスも行なっています。また、外来・入院患者さん向けに糖尿病教室を開催しています。

私は、糖代謝科病棟で勤務しながら、主に入院患者さんの療養相談や糖尿病教室などに関わっています。週1回フットケア外来では、肥厚爪の爪切りや胼胝削りを行ないながら、患者さん自身もセルフケアできるよう援助しています。



リハビリ栄養チーム会議

10月号で紹介した活動紹介の続きです。リハ栄養チームは院内の栄養管理の回診とは別に、お食事回診を実施しています。

これはリハビリスタッフと栄養士とで回復期リハビリテーション病棟に入院している患者さんのお食事中にお伺いし、食事量が不足していないか、補助栄養を追加して提供した方がよいか、安全に食べられる条件は何か、等を検討する回診です。

また介護予防に寄与することを目的として、今年度は健康まつりに参加しました。

栄養不足・筋力不足が病気の発症や転倒等、要介

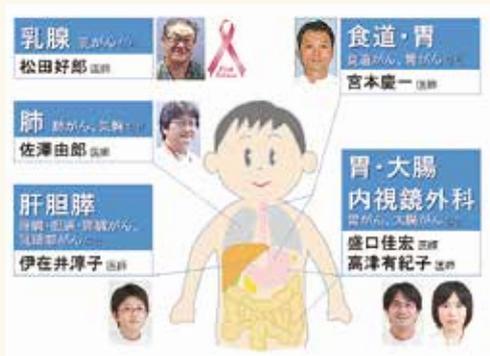
護状態を作る危険性を孕んでいること、それらを防ぐためにはどのように栄養管理や運動を進めていけばよいかを、少しでも地域の皆様にお伝えできれば幸いです。栄養管理と運動でお困りの方は、是非リハ栄養チームにお声掛け頂けたらと思います。



リハビリ栄養チーム回診

シリーズ
さまざまなリハビリテーション
第5回 リハビリテーション
栄養チームについて(その2)
言語聴覚士
NST 専門療法士(日本静脈経腸栄養学会)
大川 悠

医師紹介 (下)



当院外科医の各専門領域のご紹介

●当院外科のアピールポイント

◆専門性の高まり

当科では、以前から佐澤由郎医師が肺がんなどの完全鏡視下手術に取り組んでおり、乳がん診療は東北大学医師に支援をいただいているほか、2年前に食道・胃外科専門の宮本慶一医師が赴任し、昨年は内視鏡外科の専門研修から高津有紀子医師が帰任するなど、一層専門性が高まっております。

◆若手外科医師の育成

卒後5年目の後期研修医、小野翼、黒川耀貴が活躍しています。また、現在卒後8年目の堀切康正医師が、国立がんセンター東病院で専門研修中です。

◆他科との連携

救急領域では、救急科や麻酔科、放射線科との良好な連携により、大腸穿孔に対する迅速な手術や、腹腔内出血に対する緊急動脈塞栓術（カテーテル治療）などで、生命の危機に瀕した患者さんでも救命できるかたが増えてまいりました。

◆多職種との連携

近年は栄養サポートチーム（NST）やリハビリテーション科と共同で、手術前から退院まで一貫として栄養の強化と体力の早期回復に努めています。



手術の様子

がんの治療では、盛口佳宏医師を中心にキャ

坂総合病院外科科長

伊在井淳子 医師

いざい じゅんこ



手術研修の様子

ンサー・トリートメント・カンファレンスを定期開催し、患者さんの生活背景に配慮して、手術に限らず、抗がん剤治療・緩和治療・在宅医療を含めた最善の治療方法について、医療ソーシャルワーカーも交えて考えています。ストーマ専門外来や難治創に対する陰圧閉鎖療法にも、中川明子皮膚・排泄ケア看護認定看護師と共同で取り組んでいます。

●最後に

当地域の患者さんや紹介医の先生がたの多様なニーズにお応えし、平時も緊急時も安心してかけられるような、身近で信頼される外科を目指しておりますので、これからも宜しく願い申し上げます。



後期研修医の学会発表

初期研修医と回診

坂総合病院（本院）

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科	午前	○				○		
	午後					○		
神経内科	午後	○						
消化器科	午前	○	○	○	○	○		
リハビリテーション科	午前		○	○	○	○		
	午後	○						
末梢血管外来	午前	○	○					
甲状腺外来	午後		○診療日隔週					

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承願います。

総合病院 院長 内藤 孝 電話 022-365-5175(代)

坂総合クリニック1号館

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
外科	午前	○	○	○	○	○		
腎臓内科	午前			○				
整形外科	午前	○	○	○				
	午後	○		○				
泌尿器科	午前	○	○		○	○		○診療日隔週
形成外科	午前	○		○				○診療日隔週
	午後		○			○		
耳鼻咽喉科	午後	受付13:00～16:00		受付13:00～16:00			受付8:30～11:30	
産婦人科	午前	妊婦健診～11:30迄 ○11:30迄	妊婦健診～11:30迄 ○11:30迄	妊婦健診 ○11:30迄	妊婦健診 ○	妊婦健診～11:30迄 ○	○	
	午後	○ 妊婦健診				妊婦健診		
精神神経科	午前	○	○	○	○	○		○診療日11/19予定
	午後			○		○		
眼科※1	午前	○11時迄	○	○		○		○診療日隔週
	午後		○診療日隔週	○	○			
皮膚科※2	午前		○			○		○診療日隔週
	午後		○14:30～16:00			○14:30～16:00		
血液科	午後		○			○		
禁煙外来	午後			○診療日隔週				

<各科外来受付時間>

●午前
新患8:30～11:30
再来8:30～11:30

●午後
予約制となっています

※1 眼科の診療は医師体制上の都合により、予約以外の診察をお受け出来ない場合があります。ご了承願います。

※2 皮膚科の診療は医師体制上の都合により、予約外の方は緊急性のある方以外はお受けできません。ご了承願います。

坂総合クリニック2号館

※内科一般外来は午前からのみの診療となります（午後は休診となります）。

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後							
糖尿病代謝科	午前	○	○	○	○	○		○診療日隔週
	午後	○	○		夜間外来			
循環器科	午前	○	○	○	○			○月1回
	午後		○		夜間外来(高血圧)	ペースメーカー外来 診療日隔週		
呼吸器科	午前	○		○		○		○月1回
	午後	○	○	○		○		
緩和ケア科	午前				○			
漢方科	午前	○	△	△		○		○月2回
	午後	○	△	△	△夜間外来	○		
高脂血症外来	午前			○				
心臓血管外科	午後			○		○		
小児科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後	予防接種 受付13:30～14:30		育児検診				

●当院の外来は全面予約制ですので、来院前にお電話下さい。漢方は診療変更が多い日を△にしています。

電話番号：予約コールセンター 022-361-8288

電話予約受付時間：平日8:30（小児科のみ8:00から開始）～16:30、土曜日8:30（小児科のみ8:00から開始）～11:30

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承願います。

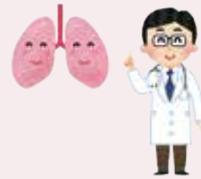
坂総合クリニック 所長 小幡 篤 電話 022-361-7011(代)

市民公開講座

2016

12/3 sat 10:00 ~ 11:30

ペア・パル利府(町民交流館)研修室
(利府町役場内)



参加費
無料
お申込不要

1 肺がんのお話し(仮称)

講師

坂総合病院 呼吸器科科長

渡辺 洋

(呼吸器専門医、がん治療認定医)



**2 肺がんにならない
ために(仮称)**

講師

坂総合病院
健康管理室 保健師

佐藤知佳子



お問い合わせ 坂総合病院地域連携室 TEL 022-365-5175(代)

地域医療連携センターから

○紹介の状況

	紹介数	逆紹介数
2016年6月	656	806
7月	668	736
8月	745	765
9月	660	762

(坂総合病院、クリニックの合計数です)

○ご紹介の際は、地域医療連携センターまでご連絡下さい。
※坂総合病院・坂総合クリニックは予約診療を行なっています。

お気軽に地域医療連携センターまでお問い合わせ下さい。
尚、緊急性の高い症状の場合や入院加療も含めての診療
ご依頼の場合は、お電話にてその旨をお知らせ下さい。

《開設時間》

●平日 / 8時30分～17時 ●土曜日 / 8時30分～12時30分

TEL 022-361-4700

※時間外休日は、救急処置室に繋がります。

コールセンターから

○診療の予約・変更・お問い合わせは、コールセンターで承ります。

TEL 022-361-8288

平日(月～金) : 8時30分～16時30分

(小児科のみ8時から開始)

土曜日 : 8時30分～11時30分

(小児科のみ8時から開始)

※紹介状をお持ちの方は必ずその旨をお伝え下さい。

※上記時間以外で救急診療のお問い合わせは、病院代表番号にお電話をお願いします。



- 電車をご利用の場合
JR仙石線・下馬駅下車(駅前が病院です。)
- お車をご利用の場合
以前に比べて第一駐車場が狭くなりました。ご不便をお掛けしますが、第三駐車場に駐車し、送迎バスをご利用いただけるようご協力をお願いいたします。

編集後記

先日行われた、みやぎ東部健康福祉友の会主催の「健康まつり」にカメラマンとして参加しました。当日は天候にも恵まれ、心も晴れやかにまつりを楽しんでもらえた一日だったと思います。

カメラ、交換レンズ、予備のバッテリー…などなど、重い機材を手にも会場の隅々まで歩き回った次の日はあちこち体が痛く、一日休みを取りたいなあなんて気分です。そんな日は、写真から溢れる笑顔や真剣な表情が一股の清涼剤です。仕上がった写真が、参加されたみなさまの思い出を一層鮮やかにできることを願っています。(S)

公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5

電話 022-365-5175 (代表)

FAX 022-365-3620

http://www.m-kousei.com/saka/

